



「ハングルの誕生 —音から文字を創る—」

2010年 9月24日[金] 18:30～20:00

15世紀の中頃に、精緻な「音（おん）の分析」によって創られた、〈ハングル＝訓民正音〉。圧倒的な漢字文化の中で、合理的な仕組みと美しさを兼ね備えた文字を、国王と若き秀才たちは、どのように創ったのでしょうか。そして、朝鮮の地で〈話されることば〉を書き表しうる、史上初めて登場した文字がもたらした、〈知〉の革命とは？ 『ハングルの誕生』の著者がそのドラマを語ります。

講師：野間 秀樹

会場：(財) 日韓文化交流基金 会議室

東京都港区虎ノ門5-12-1虎ノ門ワイコービル3F
東京メトロ日比谷線神谷町駅1番出口から徒歩1分

参加無料・要お申込み

野間 秀樹 (のま ひでき)

1953年生まれ。専門は朝鮮言語学、日韓対照言語学、韓国語教育。著書に『ハングルの誕生』（平凡社新書）、『韓国語 語彙と文法の相関構造』（ソウル、太学社）、『新・至福の朝鮮語』（朝日出版社）、『絶妙のハングル』（日本放送出版協会）などのほか、編著書に『韓国語教育論講座』（全4巻、刊行中、くろしお出版）。2005年大韓民国文化褒章受章。また、美術家としての活動もある。1996～97年ソウル大学校韓国文化研究所特別研究員。前東京外国語大学大学院教授。

図 左・『ハングルの誕生-音から文字を創る-』（平凡社新書、2010年） 中・『訓民正音諺解』 右・ソウル光化門前広場の世宗大王銅像

お申込み・お問合せ：(財) 日韓文化交流基金 TEL.03-5472-4323 FAX.03-5472-4326 E-mail: lecture@jkcf.or.jp

お申込みの際に、①お名前、②ご連絡先（電話番号、メールアドレス）、③ご所属 をお知らせください。

*定員を超えた場合、早めにお申込みを締め切る場合があります。